月間報告書 2月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

2月の教育編は入力がありません

Ⅱ．授業内容

2月の教育編は入力がありません

Ⅲ．生活編

【ビザ申請について】
ビザ申請にはパスポート(原本とコピー)、ビザ申請表(ビザセンターのサイトからダウンロードできます)、証明写真、入学通知書(原本とコピー)、JW202(原本とコピー)が必要です。証明写真はサイズや背景など細かい指定があるので、ビザ申請センターで撮ることをおすすめします。ビザは約1週間で作ることができますが、　に入ると春節でセンターが休みになるので申請は早めにするほうがいいです。

【入国時】
2月26日中国東方空港の10時に関西国際空港発、青島経由、15時40分咸陽空港到着の便に乗りました。関空には2時間前に到着しましたが、カウンターがかなり混んでいたため、最低そのぐらいには着いていた方がといいと思います。経由地の青島で身体、手荷物検査があったため、咸陽空港では受託手荷物を受け取り次第すぐに出ることができました。青島で入国カードを出すので関空青島間にCAさんに言って先に貰って書いておいたほうがいいです。

【空港からの交通手段】
空港にドライバーさんが迎えに来てくれ、約1時間ほどかけて西安外大へ移動しました。名前を持って立っているとのことでしたが、何処にも見当たらなく、なかなか会うことができませんでした。

【寮】
ビングアンという一般の方も泊まれるホテルで、日本人の方と2人部屋になりました。はじめに保証金として200元支払います。ビングアンを出るときに鍵を返すとそのお金は戻ってきます。エアコン、机、椅子、テレビ、シャワー、トイレ(洋式)、ドレッサー、布団一式揃っており、不自由なく過ごせますが収納スペースが少ないです。洗濯機は共同でフロントで洗濯機カードを買えばできます。値段は40元です。浄水器はないので近くのスーパーで買う必要があります。冷蔵庫もありません。

【simカード】
日本でシムロック解除をして、なくさないためにも日本にシムカードを置いてきたほうがいいです。大学近くの携帯ショップでシムカードを購入しました。購入の際にはパスポートが必要です。iphoneはどこのシムカードでも大丈夫だと思いますが、androidだとうまく読み込まないことが多いそうです。

【口座開設】

奨学金が振り込まれる口座開設はすべての手続きを終えてからになるので、微信支付を使うために先に開設しに行きました。開設するにはパスポート、入学通知書のコピー、ビザ申請書のコピー、中国の携帯番号が必要です。銀行の方が手続きの方法から微信支付や支付宝、タオバオの設定まで教えてくれました。

【その他】
・大学付近には大きいスーパーや銀行、郵便局や安いごはん屋、カフェなどあり、とても賑わっています。日用品もほとんど買い揃えることができます。
・お昼に教室で3人でご飯を食べていると、知らない男の人が入ってきてずっと話しかけられ、怖くなり移動しようとすると袖を引っ張られ、どこかに連れていかれそうになりました。3人でも対処しきれなかったので、1人で行動するのは避けたほうがいいです。

月間報告書 3月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1800	授業
2	口语	会話	1080	授業
3	听力	リスニング	720	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

教科書に沿って授業が進められます。初めに新出単語と新しい語法を確認してから本文に入ります。本文一課分の分量は講読の授業と同じくらいです。この授業は毎日あるので予習復習を毎日しなければついていくのがしんどくなると思います。

授業は一週間(木曜日まで)に一課のペースで進みます。

毎週水曜日にプレゼンテーションの発表をします。お題はいくつか提示してくれているものの中から選んで一人で行います。

毎週金曜日には周考というこの一週間で習った課のテストを行います。

週２回か３回、単語と語句の書き取りテストもあります。

No.2

週に３回あるこの授業も、教科書に沿って進めていきます。精読と同じく、新出単語や語句の確認をしてから本文に入ります。しかし、会話の授業なので、説明してもらった単語や語句を使って発表する機会がとても多いです。

授業は一週間で１．５課分のペースで進みます。

授業ペースははやめで、一つ一つ辞書を引く時間はないので、予習は欠かせません。

口語でよく使う表現を習うので、日常生活でも活用できます。

No.3

週に２回のこの授業も教科書に沿って進められますが、リスニングの授業なので、先生が話す文章を聞いたあと復唱します。そのあと本文を聞きますが、話すスピードが速く長い文章なので集中力が必要です。

授業は１日１課のペースで進みます。

毎時間語句の書き取りテストがあります。

Ⅲ．生活編

【学校のことについて】
三月一日にクラス分けテストをしました。テストの結果(自分のクラス)はその日の午後に漢学院前に張り出されます。しかし授業が始まって一週間はお試し期間なので、テストの結果に関わらずどのレベルのクラスでも授業を受けることができます。最終的に自分で適切なレベルのクラスを決定します。

三月五日にX1ビザの人を対象に、身体検査を受けに行きました。先生が病院まで連れて行ってくれ、値段も安く済むので中国で受けることをお勧めします。身体検査の結果も先生が取りに行ってくれ、学校内で受け取るのでとても楽です。

授業は８時２０分〜１２時まで、１科目９０分×２です。しかし、４５分ごとに１０分の休憩があります。午後は友達と勉強したり体を動かしたりしています。

プレゼンテーションを発表する機会が多いので、USBは持ってきておいたほうがいいです。

【郊外活動】
私たちが授業を受けているのが旧校舎(中国語学科のみ)で、隣の市には新校舎(中国語学科以外の学部)があるので、日本語を専攻している中国の方と交流しました。旧校舎には中国人がほとんどいないので、交流できてよかったです。

【ビングアンでの生活】
三月十五日に部屋の暖房がストップするので、それからはすこし肌寒くなります。
部屋の中は洗濯物が半日ちょっとで乾くくらい乾燥しているので、保湿クリームは持っていくことをお勧めします。
ビングアンの改装工事のためか、停電や断水が何度か起きました。

【その他】
三月十三日に公安局へビザの申請をしに行きました。公安局へは地下鉄を使うとわかりやすく、安いです。申請に必要な書類は先生が事前にチェックしてくれるので、申請はとてもスムースにできました。申請に二週間かかるため、それまでパスポートがなく、身分を証明できるものが他にないので、何かあった時のためにコピーを取っておくことをおすすめします。また、奨学金を受け取るための口座開設もパスポートがなくてできないので、申請完了後に開設しに行き、それから三月と四月分をまとめて振り込んでくれるそうです。

去年まであった学校主催の兵馬俑見学ツアーは今年は行わないらしく、とても残念です。

月間報告書 4月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1530	授業
2	口语	会話	900	授業
3	听力	リスニング	630	授業
4	中国结	中国結び	180	授業
5	茶道	茶道	120	授業

Ⅱ．授業内容

No.1
2回か3回の授業で1課を終わらせるペースで教科書を進めます。
予習復習は欠かせません。
毎週金曜日は周考(週末テスト)があったり、不定期に听写(ディクテーション)も行います。
また4月は精読のみ中間テストがあります。範囲は今まで習ったところ全てで、内容は听写や並び替え、150-200字で作文を書くなどあります。

No.2
２回の授業で１課が終わるペースで教科書を進めます。日常で使える単語や決まり文句が多く出てきます。
会話の授業なので、新出単語を習った後、すぐに自分で文章を考えて発表することが多いです。
不定期に听写があります。

No.3
1回の授業で1課を終わらせるペースで教科書が進みます。先生が言った文章を聞き取り、復唱する練習をすることが多いです。リスニングの授業なので、先生の話すスピードやCDの読むスピードも少し速いので集中して聞かなければわからなくなります。
毎授業听写があります。

No.4
紐を使っていろいろな形を編む中国の伝統工芸を体験できる授業です。
先生の説明を聞きながら実践するので難しいですがとても楽しいです。最後のほうの授業になるとお正月に飾られるような凝ったものも作れるようになるらしいです。

No.5
中国式の茶道の作法やお茶の種類を習う実践的な授業です。
先生のお手本を見た後に、グループになって自分たちだけで作ります。できたお茶は先生に飲んでもらい、評価してもらいます。

Ⅲ．生活編

【課外活動】
漢学院の先生の勧めで唐服体験に参加しました。中国の伝統的な衣装を着たり、凧に絵を描いたり、とても貴重な体験ができました。
25,26日には西安外大の新校舎で運動会がありました。各競技は有志の参加で、私は入場行進の際に国旗を持って行進するプログラムに参加しました。新しい友達もたくさんでき、楽しい時間を過ごすことができました。

【寮生活】
今まで生活していたビングアンは回収工事のため、学生寮へ引っ越ししました。6階建て。寮には机、椅子、ベッド、クローゼット、テレビなどついており快適です。収納は多いですが、物を引っかけるところは少ないです。また、洗濯物を干すところがないので、必然的に部屋干しになります。ここは学生寮という名前ですが、半分は一般の方も泊まれる宿泊用の部屋として開放しています。しかし、セキュリティ上行き来できないようになっています。そのためエレベーターはありますが、一般客用のほうにしかついていないので学生は階段しか使えません。

【その他】
ビザが出来上がったので公安局へ取りに行きました。引き換え証(プリント)を渡したらすぐにパスポートを返却してくれました。
清明節や学校の振り替え休日を使って青龍寺や鐘楼、兵馬俑を見に行きました。清明節は桜が綺麗に咲いている時期だったので、お寺はとても綺麗でした。兵馬俑は西安で一番行きたかったところなので、実際見ることができ良かったです。
学校の近くの通りはご飯屋やカフェ、雑貨屋が多いです。中でもタピオカ屋は特にたくさんあります。

月間報告書 5月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1890	授業
2	口语	会話	1170	授業
3	听力	リスニング	720	授業
4	中国结	中国結び	270	授業

Ⅱ．授業内容

No.1
今までと同様で、約3回の授業で1課を終わらせるペースで教科書を進めます。
予習復習は欠かせません。課を進めるごとに本文の量が多くなっていくので特に予習は大事です。
毎週金曜日は周考(週末テスト)があったり、不定期に听写(ディクテーション)も行います。 周考の内容は作文や閲読問題がある週が先月と比べて多くなり、難易度がだんだん上がっています。

No.2
3回の授業で1課が終わるペースで教科書を進めます。最近は復習に時間をかけるため、ペースは少し遅めです。
日常で使える単語や決まり文句が多く出てきます。 会話の授業なので、新出単語を習った後、すぐに自分で文章を考えて発表することが多いです。またpowerpointを使い発表することや、国や意見ごとに討論をすることもあります。
不定期に听写があります。

No.3
先生が変わったので、授業の進め方が少し変わりました。
1回の授業で1課を終わらせるペースで進みます。
まず、新出単語の意味や用法を一つ一つ確認し、それと一緒にその単語を使う実用句も習います。
その後本文を聞き、問題を解きます。内容をしっかり理解できるまで何度も聞き直すので途中で集中力が切れそうになりますが、切らさないようにメモを取りながら聞きます。
リスニングの授業なので、先生の話すスピードやCDの読むスピードも少し速いので集中して聞かなければわからなくなります。
毎授業听写があります。

No.4
紐を使っていろいろな形を編む中国の伝統工芸を体験できる授業です。難しいですが、授業人数は5人なので、先生が一人一人周って見てくれるのでなんとか完成させることができます。授業の最後にはその日作ったものをもって写真を撮ります。

Ⅲ．生活編

【課外活動】

西安外大の日本語専攻の中国人の方々と一緒に学校近くの大きな公園へ交流がてら一緒に散歩しに行きました。わからない中国語は教えてもらい、逆にわからない日本語は私が教えるというような相互学習をしたり、他にも中国の習慣などを教えてもらうことができ、とても楽しく有意義な時間を過ごせました。

【寮生活】

引っ越しして1か月以上経つので、新しい寮にも慣れてきました。快適な生活を送ることができていますが、この寮はなかなか電波が届かないのか、携帯がよく圏外になります。(しかし、備え付けのWi-Fiがあるのであまり心配ありません。)

【その他】

5月初めには労働節があるので学校は4連休になります。この連休を使って旅行に行く人が多いですが、電車や飛行機の値段が高騰したり、すぐに売り切れるので早めに計画を立ててチケットを取ることをお勧めします。(チケットは支付宝やwechatアプリ内に購入できるサービスがあります。)私は、行動が遅かったのでチケットを買うことができませんでした。なので、学校近くの自然博物館や大雁塔へ行きました。何処も人が多いですが、その分活気があってとても楽しいです。

クラスの子ともだんだん打ち解けて来、一緒にご飯に行くことが多くなりました。その度に知らなかった美味しいご飯屋さんを知ることができたり、各国の言葉や文化も少しづつ覚えることができ、日本との違いに驚くことが多いですが、聞いていてとても面白いです。

月間報告書 6月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1650	授業
2	口语	会話	1080	授業
3	听力	リスニング	720	授業
4	中国结	中国結び	180	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

約3回の授業で1課を終わらせるペースで教科書を進めます。他に、今月は期末テストがあるのでそれと同時に1課から内容を少しづつ復習します。周考は10回すれば基本的にそれ以上はしないそうなので、最後のほうの課は用法の確認と本文をさらっと読むくらいしかせず、その代わりに今まで習った単語や用法の听写をほぼ毎日行いました。

期末テストの内容は中間テストとほとんど同じで、听写(単語、文章),並び替え,与えられた単語で文をつくる,作文でした。時間は120分です。しっかり復習をしておけば解ける問題がほとんどでした。

No.2

3回の授業で1課が終わるペースで教科書を進めます。期末テスト前ということもあり、復習に時間をかけるためペースは少し遅めです。 日常で使える単語や決まり文句が多く出てきます。 会話の授業なので、新出単語を習った後、すぐに自分で文章を考えて発表することが多いです。

期末テストは筆記と口頭の二種類あります。筆記は中間テストと同じ形式の穴埋め式(単語、会話に続くように文を書く)です。口頭は先生との対話形式ではなく、マイクに向かって教科書の穴埋め問題や質問に対する自分の考えを録音する形式でした。

No.3

1回の授業で1課を終わらせるペースで進みます。 まず、新出単語の意味や用法を一つ一つ確認し、それと一緒にその単語を使う実用句を習います。 その後本文を聞き、練習問題を解きます。この授業は教科書の課が多いので復習する時間はほとんどありません。

期末テストは教科書の様な物語ではなく、全て一問一答形式で読むスピードも教科書のCDほど速くないです。しかし、どれも一回しか読まれないので先先問題を見ておくほうがいいです。また、教科書で習った用法がたくさん出てくるので、そこを重点的に復習することをお勧めします。

No.4

紐を使っていろいろな形を編む中国の伝統工芸を体験できる授業です。今月は端午節があったのでその節によく食べる粽子(ちまき)の形のものを作りました。初めの授業と比べると難易度が上がりましたが、そのぶん作り甲斐がありました。

Ⅲ．生活編

【課外活動】
秦腔(しんこう)という中国西北地区で行われている最大級の伝統劇を観に行きました。以前京都外大で見た京劇と似ていましたが、地方劇なので陝西省の方言を使っていました。聞き取ることが難しかったですが役者さんの迫力ある演技に惹き込まれました。一幕ごとに拍手が起こるところや劇終了後に観客が拍手をしながら「好！」と一斉に掛け声をかけるところなど、会場の雰囲気も味わうことができました。

【寮生活】
今学期が終わると帰国する人が多いので、その方たちの荷物を運ぶお手伝いをしました。購入した冷蔵庫や物干し竿、机などは持って帰ることができないので、友達に譲ることがほとんどだそうです。

【その他】
6月の初めに端午節があるので学校は3連休になります。私は回民街(イスラム人街)というB級グルメ通りに行きました。西安の特色のある食べ物がたくさん並んでいるとても活気があるところです。見ているだけでも楽しかったです。
期末テスト終了後、クラスメートとご飯を食べたり映画を観に行ったりしました。話していると、今学期が終わると帰国する人が多かったのでとても寂しくなりました。

あっという間に今学期が終了しました。友達と一緒に勉強したり遊んだり、この半年でさまざまな貴重な体験ができました。来学期は今学期以上にたくさんのことに挑戦し、より有意義な留学生活を送れるよう頑張りたいです。

月間報告書 7月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

7月の教育編は入力がありません

Ⅱ．授業内容

7月の教育編は入力がありません

Ⅲ．生活編

6月いっぱいで春学期が終了し、2ヵ月間の夏休みが始まりました。学校がないと中国語を話す機会が減るので、中国人の友達と遊んだり、なるべく外出し人とコミュニケーションをとれる環境にいるようにしています。また、夏休み明けにHSKを受けようと考えているのでその勉強も少しづつしています。

隣の四川省(成都市)へ旅行に行きました。高速鉄道に乗って約4時間半で到着します。有名な火鍋を食べたりパンダを見に行きました。辛いもので有名な地方なので、西安と比べるとやはりどの食べ物も辛めの味付けになってました。7月7日には七夕公園と呼ばれる昆明池へ行きました。七夕伝説は西安が発祥の地のようです。実際に行ってみると、七夕にもかかわらず人がとても少なく、お店の方に聞いてみると祝祭日は旧暦で数えるらしいので、旧暦の七夕の日にもう一度行ってみたいと思いました。

西安は日中38度ほどまで上がる酷暑が続いているので、夕方ごろから行動することが多いです。またこの気温なので食べ物が腐りやすくなっていることや、寮の前に水はけが悪いところや雑草が多いところがあるので、コバエや蚊がとても多いです。ムヒや殺虫剤は持っておいたほうがいいと思います。

8月に入るとまだまだ暑くなりそうなので体調に気を付けながら過ごしたいです。

月間報告書 8月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

8月の教育編は入力がありません

Ⅱ．授業内容

8月の教育編は入力がありません

Ⅲ．生活編

8月上旬はバスや電車に乗り、西安にある回民街のような食べ歩きができるところや中国のお茶をたくさん売っている通り、市場やショッピングモール、私がパン屋やカフェ巡りをするのが好きなので友達や大衆点評やウェイボで西安の方に教えてもらった美味しいお店に行きました。西安外大の近くにもカフェが多く、日本語が少しわかるオーナーさんもいらっしゃり、日本語と中国語を使ってお話することができました。また、HSKの勉強もすすめることができました。
8月中旬は韓国へ旅行に行きました。鐘楼から空港への直通バスがあるのでそれに乗って行きました。タクシーだと片道150元ほどしますが、このバスは25元なのでおすすめです。年中無休でバスは人がいっぱいになったら出発(大体20分毎に1便)です。乗車券もスムーズに買うことができます。春学期同じクラスだった韓国人の子におすすめスポットへ連れてってもらったり一緒にご飯を食べたりしました。久しぶりの再開だったので話も弾み、とても楽しい時間を過ごすことができました。現在日韓関係があまり良くないとテレビやSNSで報道されているので少し警戒しながら行きましたが、日本人に対し親切な方が多く、困っていると声をかけてくださったりと充実した旅行になりました。
8月下旬は新しく来た方の手続きの手伝いをしました。下旬になると、気温は最高でも30度を超えることがなく過ごしやすいです
。
週明けから新学期が始まるので気合を入れ直し頑張ります。

月間報告書 9月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1890	授業
2	口语	会話	1170	授業
3	听力	リスニング	720	授業

Ⅱ．授業内容

No.1
一週間で一課終わらせるペースで進みます。
まず新出単語と語法を確認し、その後本文に入ります。前学期よりもレベルが上がったので文章が長くなり、また難しい単語も多くなりました。なので、先生がわかりやすく説明してくれますが、それでも予習復習は欠かせません。
毎週月曜日に听写、毎週金曜日にその週に習った課のテスト(周考)があります。

No.2
一週間で一課終わらせるペースで進みます。会話のクラスなのでプレゼン発表や討論、店員と客に分かれてなど前で発表(演技)することが多いです。
一課の中に話が三題あるので進むスピードが速いです。なので予習復習をしないとついていけなくなります。
毎週月曜日に听写があります。

No.3
一週間(二回)で一課終わらせるペースで進みます。CDが言った文章を聞いた後リピートしたり、教科書の問題を解きます。一つ一つの文章が長いので、リピートして言うのは難しいです。また、話すスピードも速いので単語を予習していなければ理解できません。
不定期で听写があります。

Ⅲ．生活編

【学校生活】
　二日から新学期が始まりました。前学期と同様、始まって一週間はどこのクラスで勉強するか決めるお試し期間です。(前学期からいる生徒はクラス分けテストをしません。)

夏休み中にカフェで出会った日本語を勉強している中国人の方と相互学習をしました。説明したいけれど中国語が出てこず上手く言えないもどかしい場面があり、もっと勉強を頑張らなければと思いました。

【その他】
八月下旬からずっとお腹が痛かったので保険会社が提携している陝西省人民病院に診察に行きました。診察予約はネットか電話でできると書いていましたが、外国人はネットから予約できず、電話をすると直接病院に来て予約してくださいと言われたので病院のカウンターで予約しました。平日の午後に行きましたが、すごく混んでいたので受付開始時刻に行くことをおすすめします。
お金を払うシステムは日本とは違い、
診察を受ける→お金を払う、お金を払う→心電図を受ける、処方してもらう→お金を払う など
各段階でお金を払います。病院でもwechatpayを利用できます。診察前にいつ何時に行くかを保険会社に先に連絡をすれば無料で診察を受けれるそうです。(私は事後報告になってしまったので保険会社に問い合わせ後、全ての資料を郵送し、指定口座に振り込んでもらいました。)

中秋節に友達が西安に遊びに来たので、一緒に観光地を巡りました。また月餅も食べることができました。月餅は地域によって中に入れる餡が違います。西安は中に餡子が入った甘いものが多いです。

九月は気温の高低差が激しいので風邪をひかないよう注意して過ごしたいです。

月間報告書 10月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1710	授業
2	口语	会話	990	授業
3	听力	リスニング	720	授業

Ⅱ．授業内容

No.1
一週間で一課終わらせるペースで進みます。まず新出単語と語法を確認し、その後本文に入ります。
毎週月曜日に听写、毎週金曜日にその週に習った課のテスト(周考)があります。
来月の一日に中間テストがあるので今月はその復習も少しずつしました。

No.2
五回の授業で一課終わらせるペースで進みます。
会話のクラスなので新出単語を習った後すぐその単語を使った文章を考えて発表したり、他にもプレゼン発表や討論をすることが多いです。予習復習は欠かせません。
不定期に听写があります。

No.3
一週間で一課終わらせるペースで進みます。
CDが言った文章を聞いた後すぐにその分をリピートしたり、教科書の問題を解いたり、その課の内容を理解できているかの確認のため、重要単語だけを見て文章を考え発表することもあります。一つ一つの文章が長いので、リピートして言うのは難しいです。
また、話すスピードも速いので単語を予習していなければ理解できません。
不定期に听写があります。宿題は他の授業に比べて少し多いです。

Ⅲ．生活編

だんだん新しいクラスにも慣れてきてクラスの友達とご飯に行く機会が増えました。前学期からいるにもかかわらず、知らなかった美味しいお店や他国の文化や言葉を知ることができとても楽しい時間を過ごすことができています。

十月一日から七日まで国慶節でした。この長期休みを使い旅行に行く人が多かったですが、私はずっと西安にいました。大雁塔

や鐘楼、小zhaiに行ってみると本当に人が多く、いつもより何倍も活気がありました。店先に国旗を掲げていたり、頬に国旗シールを貼って小さい国旗を振りながら歩いている人が多く、何処を見ても国旗がたくさんでお祝いムードも感じることができました。国慶節の間はshi大路(大学前)のお店はほとんど閉まると聞いていましたが、どのお店もいつも通り営業していました。

去年と同じく、今月は停電と断水が多かったです。別の宿舎へ行きシャワーを借りたりカフェですごしました。

朝夜と昼の気温差が激しいので脱ぎ着できる服装で過ごす必要があります。暖気は11月半ばにならないと動かないので宿舎の中はまだ少し寒いです。

月間報告書 11月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1890	授業
2	口语	会話	1170	授業
3	听力	リスニング	720	授業

Ⅱ．授業内容

No.1
一週間で一課終わらせるペースで進みます。
先月と同じように、まず新出単語と語法を確認し、その後本文の解説に入ります。
今月は生徒が自分でパワーポイントを作って新出単語を説明するという形態で授業をしました。
毎週月曜日に听写、毎週金曜日にその週に習った課のテスト(周考)があります。
今月1日には中間テストもありました。問題は難しくないのでしっかり復習していれば大丈夫です。

No.2
今月は教科書の内容を進めるよりも、教科書と関係があるようなことについて討論したり、パワーポイントを作って発表することが多かったです。また、口語のスキルを上げるために、自分の好きな映画にアフレコをする活動もしました。
本文を進めるスピードは速くないので一回あたりの予習復習、宿題の量は他の授業に比べて少ないですが、その分パワーポイントを作ったり討論や発表をするために練習する時間が多くなります。

No.3
一回で一課終わらせるペースで進みます。
先月と同じようにCDの後に続いてリピートし、内容を理解したあと教科書の問題を解きます。CDの話すスピードは速めで文も長いので集中して聞いていないと途中で理解できなくなります。新出単語の予習も欠かせません。

Ⅲ．生活編

28日に漢語風采コンクールという各クラスから有志の人で歌やダンスなどの出し物をする活動がありました。私たちのクラスは歌と漫才の出し物をしました。私は歌を歌いました。みんなで歌の割り振りや立ち位置，振り付け，当日の衣装などを考え、放課後や休みの日に集まり練習をし、本番では満足のいくものを披露できました。練習から本番までの約1ヶ月間でみんなとの仲がさらに深まったように思いました。

中国のアーティストの公演を観るために西安の横の省の武漢へ行きました。今まで大学から空港に行くまでは空港バスかタクシーを使うしか選択肢がありませんでしたが、10月半ばから空港までの地下鉄が開通したのでより便利になりました。料金はバスで行くのとほとんど変わりません。他にも深夜や早朝のフライトにも対応しているバスが大学近くのバス停から出るようになったのでより移動しやすくなりました。
武漢は西安より暖かく、11月でも日中は上着が要らないくらいでした。物価は西安より少し高かったです。
数年前に見た別のアーティストの公演は通訳の人がいないと何を言っているのか聞き取れませんでしたが、今回の公演ではほとんど理解できたので自分の中国語レベルが上がったことを実感できました。

15日から暖房がつきました。部屋が暖かくなるのはいいですが、乾燥が今まで以上にひどくなるので加湿器を買うことをおすすめします。（寝る前に干したズボンが朝にはほとんど乾いているくらいです）
下旬頃には雪が降りました。最低気温がマイナスになる日も少なくないので服装など健康に気をつけています。

留学生活もあと1ヶ月を切りました。思い残すことがないよう毎日を大切に過ごしたいです。

月間報告書 12月分

学籍番号：　　留学先　：中国　西安外国語大学

氏名　　：　　留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日

年次　　：3年次　　留学区分：派遣留学

クラス　：I01

Ⅰ．受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	精读	精読	1170	授業
2	口语	会話	720	授業
3	听力	リスニング	540	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

今月20日から期末テストがあるので、教科書の復習をメインに授業が進みました。

復習がほとんどなので宿題は出ません。しかし、テスト範囲が今学期習ったところ全てなので早め早めに復習しておかないと追いつきません。

期末テストは中間テストとほとんど同じ形式で、漢字やピンインの書き取り,並び替え,文を作る,穴埋め,作文の問題が出ました。先生が事前にどこを重点的に復習すべきか教えてくれるので、そこを中心にしっかり復習していればどの問題も難しくないです。

No.2

グループに分かれて教科書の一課分を先生のように授業する課題がありました。パワーポイントを作りながら新出単語や語法などどのようにすればわかりやすく伝えられるかをみんなで話し合いながら準備しました。みんなにわかってもらえるように説明する難しさを感じました。

会話の期末テストは口頭と筆記の両方あり、口頭は二人一組になり先生の前である一つの話題について議論をしました。出される話題は全て教科書で扱ったものなので復習する際にどんな問題があるか、解決策はなにかを考えておいたほうがいいです。筆記は全部で10問程度の10分ほどで終わる小テストのようなものでした。教科書にある練習問題と同じものが出題されるので、これも復習していれば難しくありません。

No.3

リスニングの授業は精読や会話と違い、テスト直前まで教科書を進めました。なので授業中に復習する時間がないので帰った後他の教科より復習する時間が少し長かったです。

期末テストはヘッドホンをつけて音声を聞き問題を解きます。三分の二は授業をした教科書の範囲からで、三分の一は初めて見る(聞く)問題です。教科書の青色で書いてある単語と語法の意味と使い方をしっかり復習していれば難しくないです。初めて見る問題も教科書のCDと同じくらいの速さで読まれますが内容は分かりやすいです。また内容を三回流してくれるのでこれも難しくないです。

Ⅲ．生活編

【学校関係のこと】

成績表と学習証明書はテストが始まる週に申し込みが始まります。できあがったら学校に取りに行くか自分宛にPDFを送ってくれるそうです。成績表の作成は期末テスト後7日〜10日かかると言っていましたが、教科担任の先生に早めに採点するようにお願いをするともう少し早く受け取ることができます。私は教科担任の先生にその旨を伝えていたので期末終了5日後(25日)に受け取ることができました。

【その他】

20日に期末テストが終わり、27日に帰国しました。帰国するまでの間、選択授業を受けたり友達と一緒に遊んだりまだ行けてないところに行ったりしました。

帰国までの間に函谷関を見に隣の河南省へ行きました。函谷関は秦代に建てられた天下第一の関と呼ばれる関所で沢山の戦いが行われた場所でもあります。私が好きな漫画に出てくるので行きたかったところの一つでした。1人で行っていたので火車の中で隣の席の方と話したり、私と同じように1人で観光に来ている人と一緒に見てまわりました。その方が函谷関についていろいろ説明してくれましたが歴史系の単語を知らず、また知識が浅く理解できなかったところがあったので中国の歴史を順に追いながら単語を勉強してみようと思いました。

勉強した中国語と日常で使う中国語はやはり違い、留学にきた頃は何を言っているのか理解できない事が多々ありもどかしかったり悔しい思いをしたことが多かったです。しかし生活に慣れてくるとだんだん聞き取れるようになり、店員さんやタクシー運転手さんと話しているときに「中国語上手いね！」と言われることも増え達成感を感じることができ、それがまた勉強するモチベーションにも繋がりました。アジア以外の国から勉強に着ている学生も多く、いろいろな考え方や文化、他国から見た日本はどうか、など改めて感じたことや新たな発見があり新鮮でした。

この一年間(10ヶ月間)充実した、有意義な時間を過ごすことができました。